

# 家族で楽しむ なつかしのあそび



いま、子供たちの「遊び」といえばテレビやパソコン、ゲーム機など。一人でできる機械的なものが多くなりました。家の中で過ごすことが多いこの時期は家族とのコミュニケーションを深めるなつかしの遊びをしてみませんか？

## 福笑い

紙遊びの代表格のようなこのゲーム。顔の輪郭だけの大きな紙に、目隠しをした状態で目、鼻、口、眉などを置いていきます。目隠しをはずして完成された顔の面白さに大笑い。上手にできあがるよりもおかしな顔になった方が盛り上がります。おかめの顔の福笑いが普通でしたが、自分でカレンダーの裏などに輪郭を描いて、手作りの福笑いを作るのも楽しいかもしれませんね！



## 紙相撲

台紙は何でもOK。土俵は紙皿を使用する。まずはジャンケンで自分の力士を選び、行司役が力士を組ませる。複数でおこなう場合はトーナメント表を作成し一番強かった力士を代表として各土俵から選出して優勝決定戦をするとより盛り上がります。呼び出し、行司、審判など役割を決めてそれらしくすすめると臨場感がグッとアップ。小太鼓、拍子木(牛乳パックで作成)など音で演出するとなお良い。



## コインおくり

まずはじめに、オニを一人決めます。それ以外の人はオニと向き合って一列に並びます。一番目の人からコイン(石でもなんでもよい)をとりの人の手に送っていきます。途中の人は、適当にコインを止めてその後は送るマネをするだけにします。最後の人まで行ったら、オニはどの人がコインを持っているか当てます。当たったらオニを交代します。

## すごろく

厚紙に、0~80(生まれてから死ぬまでの年齢の意味)ぐらいまでの○を書いていきましょう。そこに、子どもに聞きながら、何歳で結婚する、何歳で車や家を買う、何歳で子どもが生まれる、などの将来のイメージを聞いていきます。あまりイメージがわからないときは、お父さん・お母さんの例を参考に作っていてもいいでしょう。



## 手づくりパズル

ポスターや写真、自作のイラストなどを使った手作りパズル。好きな台紙をダンボールに貼り、乾いたらカッターで自由な形に切っていきます。これでパズルのできあがり。小さいお子さんにはピースの形を大きくして数を少なくします。大人用にはピースの形を細かく複雑するとやりがいのあるパズルに。完成時の感動も増殖します。日本地図を都道府県別に切り抜いてパズルにすると、地理の学習にもなります。

## 新聞大陸

新聞紙1枚を床に置き、その上に立ちます。参加者同士でじゃんけんぽん! 負けた人は自分の下に置いてある新聞を拾って半分に折り、また同じ場所においてその上に乗ります。3人以上でゲームをするときは、1人が勝ちになるまで、もしくは1人負けになるまでじゃんけんしたりしてもよいでしょう。新聞紙の上に立つことができなくなったり、バランスを崩して新聞紙の上から落ちてしまったらゲームオーバー! 負けとなります。



## ちいさいころ、なにで遊んでた？



takeup!編集室内ではこんな声が上がりました。

